

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成25年11月)

平成25年11月14日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況											補足説明
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4~H22.8.4 停止期間 H19.5.4~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定期検査による停止											
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止											
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止											
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止											
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24~H23.2.18 停止期間 H18.11.24~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定期検査による停止											
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H24.3.26~	第9回 H22.10.31~H23.3.9 停止期間 H22.10.31~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	第10回定期検査による停止											
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18~H22.7.23 停止期間 H22.4.18~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定期検査による停止											

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (10月末現在)

10月	0.0%
25年度累計	0.0%
運転開始後累計	58.4%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (10月末現在)

10月	0
25年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (H25年度第2四半期)

当期発生本数	931
貯蔵庫累積貯蔵本数	32,733
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H25年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (11月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	841	2,180	59%
	刈羽村	82	179	5%
	その他	117	805	18%
	小計	1,040	3,164	82%
県外		84	839	18%
合計		1,124	4,003 (3,454※)	-
		5,127		100%
協力企業社数(社)		672		

※11月1日の協力企業構内入構者数

⑦ 来客情報(人) (10月末現在)

	10月	年度累計
地元	724	5,726
県内	781	5,680
県外	1,534	7,653
国外	51	172
合計	3,090	19,231

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
11月28日	定例の記者説明会
12月12日	次回定例所長会見

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

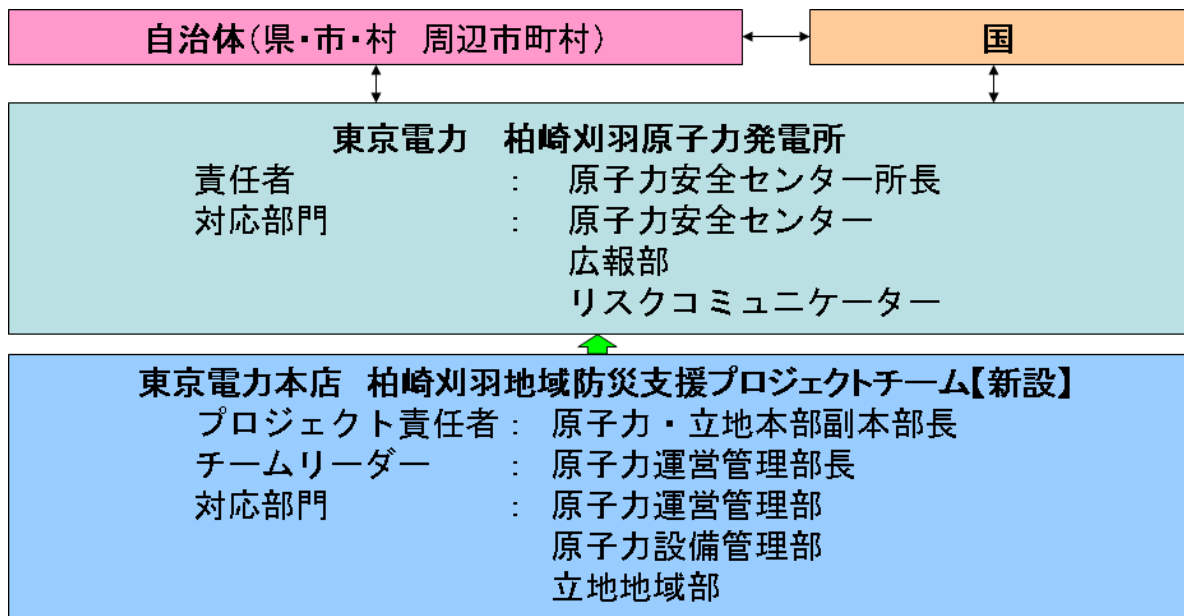
No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	平成25年 5月23日	大湊側 ランド リー建 屋	管理区域・非管理区域間の貫通部等の 点検調査について（区分その他）	<p>（発生状況） 平成24年9月12日に、大湊側（5～7号機側）のランドリー建屋の空調ダクト点検のため、点検作業の事前確認を行っていたところ、管理区域と非管理区域の境界壁を貫通するダクト貫通部において、管理区域側から非管理区域側への空気の流れを確認いたしました。 当該箇所については、放射性物質の測定を行い問題がないことを確認するとともに、応急処置（アルミテープによる閉止処置）を実施しました。恒久対策として、ダクト貫通部にアルミ板及びシール材による閉止処置を実施しました。 本件を踏まえて、これまでに全号機を対象に管理区域側と非管理区域側間の貫通部や扉について、調査方法の検討及び点検対象箇所の選定を行い、点検対象とした貫通部や扉について、管理区域側から非管理区域側へ空気の流れの有無に関する確認を行うこととしました。 (平成25年5月23日までにお知らせ済)</p> <p><u>その後、全号機を対象に管理区域と非管理区域を貫通している箇所について、管理区域側から非管理区域側への空気の流れの有無の確認を行い、管理区域側から非管理区域側への空気の流れがある箇所が79箇所あることを確認しました。</u></p> <p>（安全性、外部への影響） <u>当該貫通部（79箇所）について、非管理区域側で放射性物質が検出されなかったことから、外部への放射能の影響はありません。</u></p> <p>（対応状況） <u>当該箇所（79箇所）については、貫通部（配管・ケーブル等）にシール材等を用いた閉止処置を行い、その後、空気の流れがないことを確認しました。</u></p>
②	平成25年 10月16日	3号機	タービン建屋（管理区域）における油 漏れについて（区分Ⅲ）	<p>（発生状況） 平成25年10月15日午前10時20分頃、3号機タービン建屋（管理区域）においてタービンや発電機の軸受などに潤滑油を供給する設備の点検に従事していた当社社員が、タービン建屋1階発電機エリアの発電機軸受下部付近およびタービン建屋地下1階発電機下部エリアの床面に、油だまり（発電機エリア：約2リットル発電機下部エリア：約4リットルの合計約6リットル）を確認しました。油の漏えいについては、午前10時22分に潤滑油供給ポンプの運転を止めたことにより停止しています。その後、午前11時12分に消防本部へ連絡し、現場を確認していただきました。 なお、漏れた油は、拭き取り処理を行うとともに床面の清掃を実施しました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏れた油に放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 今回の油漏れは、発電機軸受部から潤滑油が漏えいしたものと推定しておりますが、今後、油漏れの原因について調査を行います。</p>

柏崎刈羽地域防災支援プロジェクトチームの設置について

<柏崎刈羽地域防災支援プロジェクトチームの設置目的>

- ・当社は、このたび、本店原子力・立地本部に「柏崎刈羽地域防災支援プロジェクトチーム」を新たに設置した。
- ・柏崎刈羽地域防災支援プロジェクトチームは、地域住民の皆さまの安全を確保すべく、自治体の皆さまが地域防災計画を作成するにあたって必要な情報を提供していくことを目的としている。

<地域防災への協力体制イメージ>



<活動内容の例>

- ・自治体の皆さまと協議し、原子力災害における事故の進展、放射性物質が放出されるまでの時間、放出される放射性物質の量と種類など、地域防災計画の策定に必要なと思われる情報を提供する。
- ・原子力災害により放射性物質が放出されるような状況における通信連絡など、自治体からのご要望に応じて、地域防災計画の策定において参考になるとと思われる情報を提供する。